

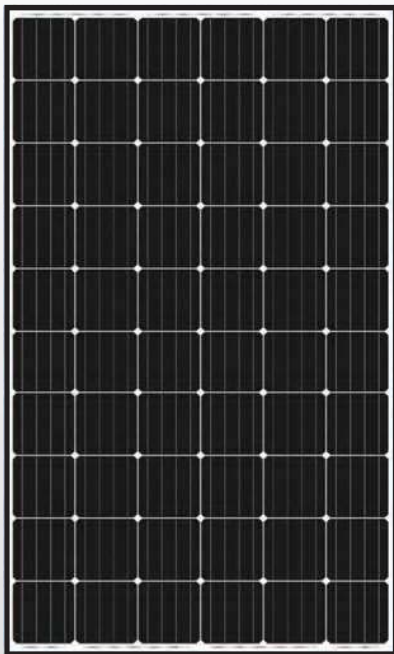
業界最高クラスの高変換率を誇る 太陽電池モジュール[マクサ]

WWBの太陽電池モジュール「Maxar【マクサ】」は国際共通基準に基づいて開発、設計、製造および販売しております。これらの製品は、一般一戸建て住宅の太陽光発電システムをはじめ、一般企業様や企業集合住宅、さらにメガソーラー大型太陽光発電プロジェクトにいたるまで幅広く利用されています。製品の品質を確保するために、我社は原材料の選択と生産工程の管理に十分な努力を重ね、太陽電池モジュールの安定性を保持、過酷な気候の中での耐久性を高めました。それと同時に、すべての太陽光発電モジュールは出荷の際に品質テストを再度行い品質を維持しております。より安定、より高効率、より低コストの太陽電池のモジュールの提供は我社の目標です。

単結晶・多結晶シリーズ

最大出力と変換効率がさらにアップしました。

Passivated Emitter and Rear Cell **PERC**



WS-300M-CI60-BW

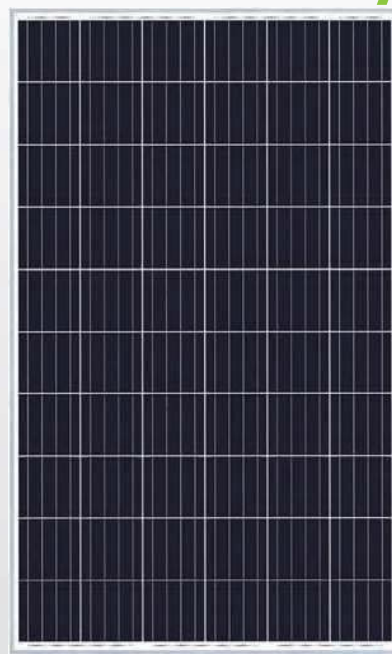
- 外形寸法 (mm) : L1640×W990×D40
- フレーム色: ブラック
- 質量: 19.1kg

最大出力
300W

実効変換効率
<JIS基準>
18.4%

実効変換効率
<J-PEC基準>
20.4%

Normal **Poly**



WS-275P-CI60

- 外形寸法 (mm) : L1640×W990×D40
- フレーム色: シルバー
- 質量: 19.1kg

最大出力
275W

実効変換効率
<JIS基準>
16.9%

実効変換効率
<J-PEC基準>
18.6%

※1 公称最大出力の数値は、JIS C8918で規定するAM1.5、放射照度1,000W/m²、モジュール温度25℃での値です。
 ※2 実効変換効率[JIS基準] (%) = 最大出力を太陽電池セル・モジュール前面積と放射照度との積で除した値。<JIS C8961基準>
 ※3 セル変換効率[J-PEC基準] (%) = JIS C8960において定められた実効変換効率を基に、モジュール化後のセル実効変換効率(略称:セル実効変換効率)を次式にて算出するものとする。
 セル実効変換効率 = モジュール交差最大出力 / (太陽電池セルの合計面積 × 放射照度) ★太陽電池セルの合計面積 = 1セルの全面積 × 1モジュールのセル数
 ★1セルの全面積には、セル内の非発電部を含む。ただし、薄膜系、化合物系のセル全面積には集積部を含まない。
 ※4 JIS C8961に基づく定格負荷効率。 ※5 モジュール実効変換効率、パワーコンディショナ変換効率より算出した数値です。

製品特長

- PIDフリー製品です。
- モジュール変換率は、製造前の太陽光発電セルと比較しほぼ同じです。
- モジュールの許容量は+3%の低電力以内におさめております。
- バイパスダイオードを太陽電池モジュールに取り付け、ホットスポットによりモジュールの損傷を避けます。
- IES61215標準で、5400Paの機械負荷試験に合格。
- 陽極酸化アルミニウム合金のフレームは強度が高く、厳しい自然条件に耐えられます。

品質保証

- 10年間品質保証
- モジュール出力25年保証



*モジュール変換効率は12年以内最小ピーク電力の90%、20年以内は83%、25年以内は80%以上を保証します。

太陽電池モジュール仕様

型名	WS-300M-CI60-BW	WS-275P-CI60
公称開放電圧 [Voc]	39.8V	38.0V
公称短路電流 [Isc]	9.60A	9.15A
最大出力電圧 [Vmpp]	32.2V	30.9V
最大出力電流 [Impp]	9.31	9.28A
最大システム電圧 [V]	1000	1000
電圧温度係数	-0.307%/K	-0.292%/K
電流温度係数	+0.039%/K	+0.045%/K
電力温度係数	-0.423%/K	-0.408%/K
ヒューズ容量 [A]	20	20
セル(仕様/サイズ)	6×10(単結晶/156mm×156mm)	6×10(多結晶/156mm×156mm)
接続箱	バイパスダイオード3本付き	バイパスダイオード3本付き
ケーブル	長さ1200mm、断面1×4mm ²	長さ1200mm、断面1×4mm ²
ガラス(強化ガラス/厚さ)	強化ガラス、厚さ3.2mm	強化ガラス、厚さ3.2mm
電池封止	EVA	EVA
バックシート	積層フィルム	積層フィルム
フレーム	アルミニウム合金	アルミニウム合金
外形寸法 (L×W×H)	1640×990×40mm	1640×990×40mm
質量	19.1kg	19.1kg
VI曲線図		
寸法図		

上記のデータは標準テスト条件 (STC) で測定したデータです。即ち太陽日射量1,000W/m²、太陽スペクトルAM1.5、セル温度25°C。電気許容差: ±3%; 公称開放電圧/公称短路電流/最大出力電圧/最大出力電流の誤差範囲±10%。このシリーズの太陽電池モジュールはIEC6125、IEC60730-1/2およびUL1703の標準認証に合格しました。

★平成24年度、J-PEC基準により、算出したものです。